



安全対策セミナー「関東大震災100年」出席報告

11月4日(土)調布市文化会館にて、調布市自治会連合協議会主催によるセミナーが行われ、関東大震災他の大震災に学ぶ事が多くありましたので報告します。

関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災	都心南部直下型地震
焼死 約9割	窒息・圧死 約7割	溺死 約9割	?



- 関東大震災の最大震度；神奈川県，千葉県が「震度6弱～7」。東京は「震度6」
本震発生後に3回余震が発生，計4回の地震により被害が拡大
- 本震，余震で多くの家屋が倒壊し，初期消火や救出の担い手を失った。
- 100年後の“今”も変わらないこと；地盤条件，強風，余震，助け合いの“心”

都心南部直下型地震，備え

- 30年以内に70%の確率で発生します！ 今，発生するかも知れません！
- 想定震度はM7.3。関東大震災時に経験した台風の風や火災による竜巻を反映

【調布市の被害想定】

死者（火災等を含む合計）	49人
負傷者（火災等を含む合計）	888人
建物被害（揺れ等で全壊）	612棟
火災（消失棟数，倒壊含む）	1,044件

消防署の消火不可

◆地域の特性を知る

調布市予想震度；震度6弱，危険度は5段階中「2」

◆家屋の耐震性を高める

昭和60年以降家屋は被害割合が激減しますが，1部屋だけでも平成14年建築基準法仕様に補強する。※避難所は全員が避難できません

◆出火防止

火災警報器の点検，消火器の設置



◆地域の防災力を高める

防災知識の普及，防災訓練の参加

安否確認；安否確認標識の掲示 ⇒ 初期応動で大切な共助の活動

◆家具類の転倒防止

出火防止，重大な人身被害が防げる



次ページの「ワークショップ」にチャレンジしてみましょう。10箇所あります。

防災防犯委員会 柳沢 080-4290-1413